

ALFA ROMEO

アルファ ロメオ ファイル

FILE



STUDIO TAC CREATIVE

SPECIAL SHOP IN THE WORLD

AFRA

アフラ

20155 MILANO
VIA CARACCILO, 24-26
TEL 02-316056
FAX 02-312730



アルファのパーツに関するデパート、 ミラノ随一を誇るアフラ。

その創業以来、アルファ ロメオのパーツ供給に対して最大限の努力を払ってきたのがAFRAである。創業者は戦前のアルファ ロメオに勤務していたという筋金入りのスペシャリスト。そのパーツはいまや本家のアルファ ロメオをも上回るシステムで管理されている。



AFRAによってチューンされたアルファロメオ・エンジン搭載したこの機体は、1949年にミラノからフエノスアイレスまでの3万8600kmという長距離飛行に成功。AFRAの名声を高めた。

現在、アルファロメオのパーツ供給を行っている会社の中で、事実上世界一の品揃えを持つといっても過言ではないのがミラノに本拠を置くA.F.R.A.である。A.F.R.A.とは Accessorio Fornitura Ricambi Autoveicoliの略。直訳すれば「自動車補修部品用品製造販売」とでもいうべき愛想の無い社名だが、実体は極めてマニアックなアルファロメオ専門パーツショップとして、今やその名は全世界中に轟いている。

A.F.R.A.の創業は第二次世界大戦の終了間もない1946年のこと。創業当時はその名の通り一般的な自動車部品や汎用エンジン用品を広く手掛けていたものの、創業者であるアドゥリアーノ・ジョルジュッティ氏の前職が後の経営戦略に大きく影響することとなった。現在80才ながらA.F.R.A.の会長を務める氏は、1930年代から戦前までアルファロメオに勤務、最初は工場勤務からスタートし、続いて事務職、さらには技術プロジェクト開発部門を経て最終的には営業を務めるなど極めて多岐に渡る業種を歩いてきたという経歴を持っていた。

ところで、いつの時代も敗戦国において軍事産業に携わった巨大企業に対する過酷な戦後処理は当然の帰結であったが、アルファロメオもまた、この災厄から逃れることはかなわなかった。そのため敗戦のドサクサの中で散逸してしまったり強制的に廃棄させられてしまった資料は多数に上り、戦後政策が一段落した時点でアルファロメオは戦前のモデルについての資料収集と整理に乗り出したものの作業は遅々として進まなかったという。一方ジョルジュッティ氏は第二次世界大戦の帰結と共にアルファロメオを後にし、程なく自身のパーツ製造業を始めたわけだが、彼はアルファロメオを退職する時点で自身が管理する立場にあった相当数の資料を散逸と無意味な廃棄から守るべく、積極的に保管する道を選択した。この時彼が守った重要な資料は後に請われるままアルファロメオに提供され、アルファロメオの歴史的バックボーンの整理と再評価にあたって重要な役割を果たしたといわれている。

こうして、アルファロメオとジョルジュッティ氏との間には深い信頼関係が芽生えることとなった。そして以後アルファロメオとA.F.R.A.は手を取り合って純正パーツ安定供給への道を歩む様になったのである。

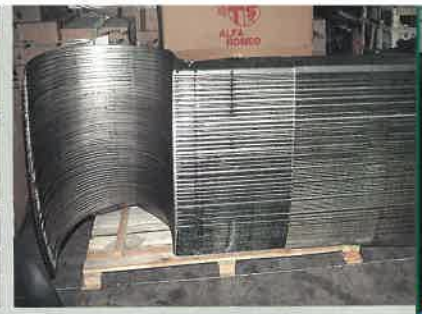


会長のアドゥリアーノ・ジョルジュッティ氏と息子であり現社長のクラウディオ氏の妹である。ちなみに彼女はAFATIの代表も務める。ショップの外観は極めて近代的である



子供達を助けるために海を越えたエンジン

保存されているアルファロメオ1101航空エンジン。左のアンブロジーニS1001長距離機用エンジンである。この挑戦的飛行の目的は戦災で家を失った子供達に対する援助をアルゼンチンに求めるため。機体のニックネームは「子供達の天使」だった。



パーツの在庫数を尋ねることを諦めたラインアップ

体育館な巨大な倉庫内にはそれぞれ圧倒的なボリュームで総て時代におけるアルファロメオの、総てのパーツが蓄積されている。もちろんほとんどが新品であるが、中にはドアといった解体パーツも存在している。ここで働くスタッフは、写真の工場長を筆頭にひとかたならないアルファロメオのスペシャリスト集団であり、知らないことはほとんど存在しないといっても過言ではない



アノ・ジョルジェット氏の個人車両

レーションの素材として完璧なコンディションの場合、完璧レストア対象として何年かかるか、やりある車両ではある。新車を造るよりもたいへんなあることが理解できる一台。オーナーの楽しみ、苦しみ

